

## 【新型コロナウイルスについての基礎知識】

- ① 感染経路：一般的には飛沫感染（感染者のくしゃみ、咳、つばなどと一緒にウイルスが放出、そのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染）、接触感染（感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスが付着。他の方がそれに触るとウイルスが手に移り、その手で目・鼻・口を触ることによる感染）。閉鎖した空間で、近距離で会話するなどの環境では、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させるリスクがあります。
- ② 潜伏期間（感染してから発症するまでの期間）：1～14日、平均5日。濃厚接触者については14日間にわたり健康状態の観察が必要。
- ③ 相談の目安：4日以上続く風邪症状や37.5℃以上の発熱（解熱剤内服時も含む）、強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある場合、「帰国者・接触者相談センター」（各都道府県に開設）等に相談。高齢者や基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患、腎疾患、抗がん剤や免疫抑制剤治療中）のある方、妊娠中の女性は、上記症状が2日程度続く場合に相談。においや味覚障害を訴えた方からも新型コロナウイルス陽性例の報告がされています。

## 【新型コロナウイルスの媒介者とならないために】

- ① 手洗い、うがい、消毒（アルコールが60%～80%程度含まれている消毒薬は有効、濃度に注意）。
- ② 定期的な体温測定（1日2回程度）をして下さい。
- ③ 人が密集した場所を避ける。「感染拡大警戒地域（直近1週間の感染者数が大幅に増加している地域）」では、屋内で10人以上集まる集会等への参加を極力控えて下さい。「感染確認地域（直近1週間の感染者数が一定程度の増加幅に収まっている地域）」では、屋内で50人以上集まる集会への参加は極力控えて下さい。人との距離を十分取るようにして下さい（目安は2m）。
- ④ マスクの着用、咳エチケット（くしゃみや咳をする時は鼻や口を覆う）、目・鼻・口を触れないように注意して下さい。

## 【新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた方への対応】

- ① 新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた方は、ご遺体からの感染を防ぐため、感染症指定医療機関でご遺体を非透過性納体袋に収容・密封後に袋表面を消毒し納棺。ご遺族の意向に配慮しつつも、極力そのままの状態での病院から火葬場に搬送されます。火葬は特定の火葬場で、早朝や夕方など通常業務時間外に行われ、ご遺骨としてご遺族に引き渡されることが多いようです。そのため、ご遺族は看取りの時にご遺体に触れることが難しく、火葬の立ち会いや収骨することもできないようです。
- ② 国の方針を踏まえ、感染防止の為に衛生管理にご協力下さい。その上で出来る限りご遺族の意向を尊重しお気持ちに寄り添った柔軟な対応で、枕経・通夜・葬儀等の執行をお願い致します。
- ③ 感染による差別や風評被害が拡がらないように、特別のご配慮をお願い致します。

### 【新型コロナウイルス感染症流行下での葬儀・法事・各種行事等】

- ① 寺院や会館などは3密、「密閉空間」（換気の悪い密閉空間）、「密集場所」（人が密に集まって過ごすような所）、「密接場所」（近距離で会話などが行われる所）が起りやすい場所です。愛媛県において、葬儀参列者の新型コロナウイルス集団感染を認めたとの報道もありました。
- ② 施主（喪主）とよくお話し合いをし、感染防止に努めながらも、お亡くなりになられた方を霊山に導き、ご遺族の悲しみに寄り添う儀式になるよう、納得がいく形での執行をお願い致します。
- ③ 本堂や会館などでは、可能であれば2方向の窓を同時に開け、十分な自然換気を心掛けて下さい。また、同時に扇風機などを使用し、空気の流れを促進させることが推奨されています。
- ④ 参列者にマスクの着用、手洗いやアルコール消毒等を促して下さい。座席やお焼香の間隔を十分開けるよう配慮して下さい（可能であれば目安は2m）。
- ⑤ 儀式や法話時間などの短縮を、状況に応じてご考慮下さい。
- ⑥ 会食などは極力お控え下さい。
- ⑦ 洗面所や手すりなど、手がよく触れる部分は、60～80%消毒用アルコールや界面活性剤を含む住居用洗剤等で定期的な清拭をすることを検討し、洗面所などのタオルの共有は避けて下さい。

以上